

# JCMメディア印刷部会 50周年式典を挙

日本青年会議所メディア印刷部会(杉山純一部会長、JCMメディア印刷部会)の50周年式典が7月13日東京ドームホテルで華やかに挙行され、現役、OB、来賓ら約1200人が出席してともに50年の歴史を継承し、新たな時代の飛躍を期した。杉山部会長は「これまでの50年を支えてくださった諸先輩方のご恩に感謝し、新たな51年目を目指して歩みを進めたい」と、感謝の辞を示した。式典では歴代部会長が現役へ期待と励ましのことをおくり、欠席した北島義俊9代部会長もビデオレターからメッセージを寄せた。



歴代会長により鏡が開いて乾杯

成で進行。講演会では林英臣氏(林英臣政経塾塾長)が「盛衰の分岐点、二〇二〇年をどう迎えるか」と題して、「世の中が大きく変わる時代に生まれた宿命に向き合い生きる覚悟を決め、自分の哲学を持ち、身の置き場、立ち位置を見極めること」を大切に。JCMで学んだことが宝一、浅野健25代部会長が「単年度制というJCMの体制から多くのことを学んだ。現役時代はどこにあんなパワーがあったのかと驚く。本日の式典にあたり準備に携わってくださったすべての方に歴代部会長を代表し感謝」とのことが寄せた。

## 新時代の飛躍期す

### 歴代部会長がメッセージ

当日は記念講演会、記念式典、記念懇親会の3部構成。北島9代部会長はビデオレターの中で次のように会場へ語りかけた。

「かつてない厳しいパラダイムシフトの時代、部会員のみなさんにはこれからも継承すべき伝統を守りつつ、それぞれが蓄積してきた

技術やノウハウを武器にした社会の新たな課題を解決する存在を目指してほしい。伝統は守るべきものではなく日々新たに創り出すもの。歴史ある産業の若き経営者である皆さんには、継承するべきものは継承し、変えるべきものは思い切って変えるべきを合わせ持ち、新たな成長戦略を求め、印刷産業を再び成長産業へと導いてくれることを心から期待している」

「かつてない厳しいパラダイムシフトの時代、部会員のみなさんには、継承するべきものは継承し、変えるべきものは思い切って変えるべきを合わせ持ち、新たな成長戦略を求め、印刷産業を再び成長産業へと導いてくれることを心から期待している」



つら期待している。続いて藤田陽司実行委員長が「多くの先輩方と業界の皆様を支えられた50年を将来へつなげるため精一杯努力した。先輩方と現役で手を携えて業界を盛り上げていき